

# 小学校英語の現職教員研修：何が必要なのか

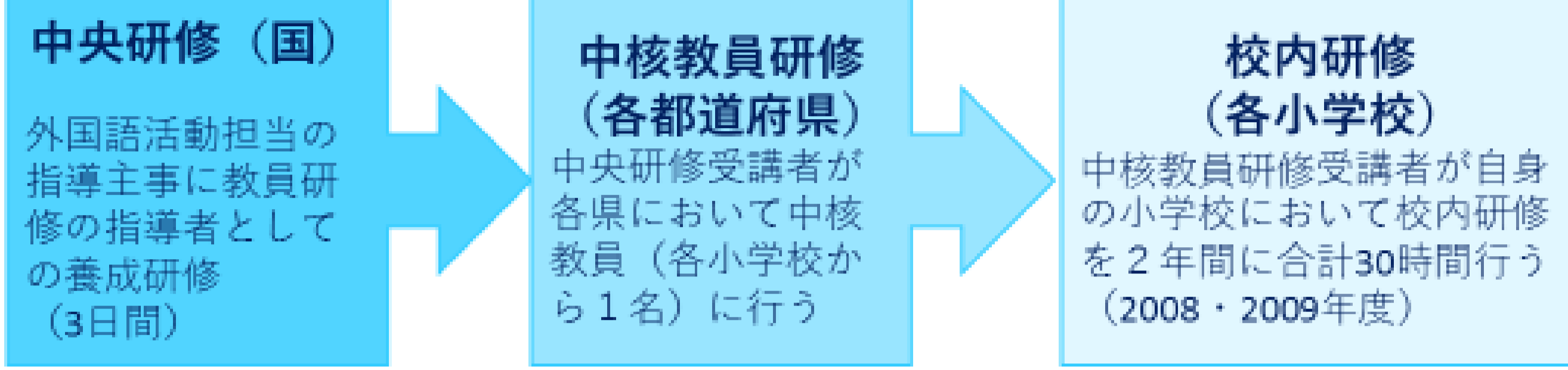
執行智子（東京未来大学 こども心理学部 講師）  
 宅間雅哉（東京未来大学 こども心理学部 教授）  
 カレイラ松崎順子（東京経済大学 現代法学部 教授）

2020年度より  
 小学校5~6年生・・・「外国語」（教科）  
 小学校3~4年生・・・「外国語活動」  
 小学校担任教員の3分の2が  
 外国語教育に携わる

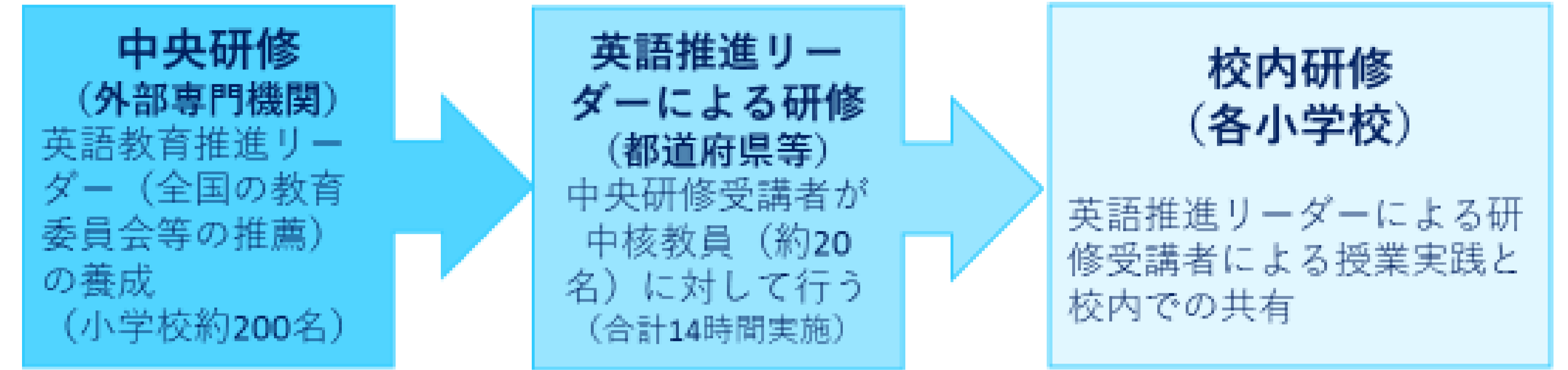
本格的な現職教員研修の実施が求められている

## ● 文部科学省主導の伝達講習

外国語活動導入のために実施（2008, 2009）



現在（British Councilに委託）



### 中央研修・中核教員研修内容

- 小学校における英語活動等国際理解活動の在り方
- 基本的理念と言語習得論
- 研修の在り方
- 国際理解活動の在り方
- 発音指導
- クラスルーム・イングリッシュ
- コミュニケーション活動等の講義と協議
- 学校経営の視点で捉えた小学校英語・校内研修の実践についての事例発表
- ITでのコミュニケーション活動
- 歌・チャンツの利用
- 国際交流の在り方
- 指導案作成
- 模擬授業発表準備
- 模擬授業発表
- 研修講師となるために

### 中央研修

- 第1段階 英語での活動体験、模擬授業
- 第2段階 第1段階の振り返り、英語力向上のための自学
- 第3段階 受講者の授業ビデオの視聴とフィードバック、教材や各言語活動の背後にある理由づけに対して理解
- 第4段階 所属教育委員会が主催する研修会等において研修実習を実施するための計画書を作成し、講師を務める

### 英語推進リーダーによる研修

1. 教室英語（英語力）1時間
2. 絵本の活用（教授法）2時間
3. 単語や表現の学習（教授法）3時間
4. ALTとの打ち合わせ（英語力）1時間
5. 歌の活用（教授法）2時間
6. アルファベットの音（英語力・教授法）2時間
7. 授業指導案の作成（英語力）2時間
8. 他教科等と関連した内容を取り入れた活動（教授法）1時間

## 校内研修は？（川上, 2010）

5日間の中核教員研修を受けただけの英語が専門ではない中核教員が行う校内研修を受講しただけでは、教室で児童の実態に合わせた外国語活動を行う知識や技能を修得することは難しい？

## 望む教員研修

- 2011年の外国語活動全面実施以前
- 授業ですぐに使えるactivityや教材
  - classroom English
  - 日常的な英語力の向上
  - 授業案や年間カリキュラムの作り方教える内容と量
  - 発音力の向上
- （Kusumoto, 2008；猪井, 2009）  
 →英語活動を教室で実施する際に直接的に関わる内容（猪井, 2009）

## 望む教員研修

- （日本英語検定協会, 2016）
1. 指導法（57.9%）
  2. 教員自身の英語力向上に関する内容（19.0%）
  3. ALTやJTE（ボランティアを含む）との連携に関する内容（7.6%）
  4. カリキュラム等指導計画（5.6%）
  5. 評価方法（4.1%）
  6. 他校の実施事例（2.2%）
- 2020年の教科化を目の前にし、教員の意識は英語教育の健全化に向かいつつある

現在、参加している教員研修は？  
 （日本英語検定協会, 2016）

1. 公費（または無料）で集合研修（教育委員会や学校主催の研修やセミナー等）93.5%
2. 自費（または有料）で自己学習（英会話学校、eラーニング、通信教育、書籍、教材等の利用）14.2%
3. 自費（または有料）で集合研修（外部団体の主催する学会やセミナー等）9.5%
4. 公費（または無料）で自己学習（英会話学校、eラーニング、通信教育、書籍、教材等の利用）6.5%

## 「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業 平成28年度報告書」より

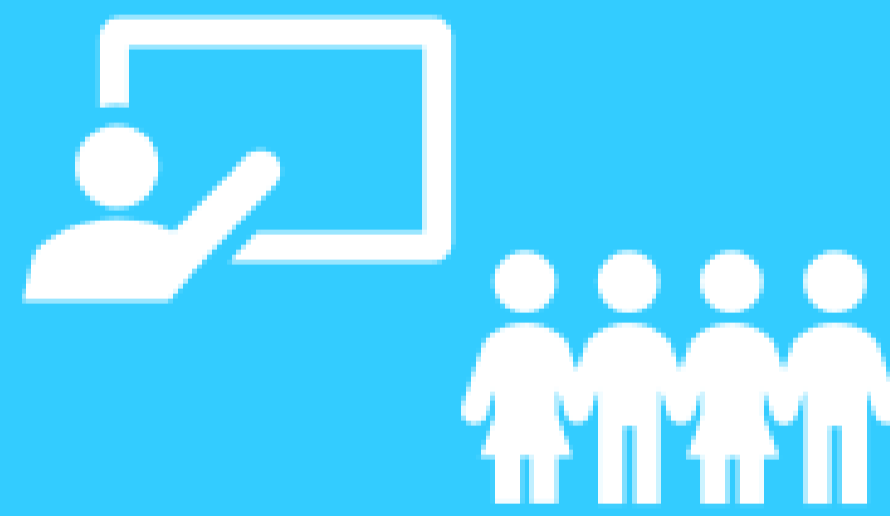
（東京学芸大学, 2017）

### 第二言語習得に関して

教員養成課程	教員研修
1. 授業実践に必要な知識・理解 (2) 子どもの第二言語習得についての知識とその活用 ・ 言語使用を通して言語習得 ・ 音声によるインプットの内容を類推し、理解するプロセス ・ 児童の発達段階の特徴を踏まえた音声によるインプットの在り方 ・ コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて他者に配慮しながら、伝え合うこと ・ 受信から発信、音声から文字へと進むプロセス ・ 国際教育との連携等によることばの面白さや豊かさへの気づき	1. 指導に必要な知識・技能 子どもの第二言語習得についての知識とその活用

### 授業研究に関して

教員養成課程	教員研修
	・ 授業観察（中学校の授業観察も含む） ・ 授業公開 ・ 公開授業等の企画・運営 ・ モデルとなる授業



### 英語力に関して

教員養成課程	教員研修
(1) 授業実践に必要な英語力 ・ 聞くこと ・ 話すこと（やり取り・発表） ・ 読むこと ・ 書くこと	2. 英語力 ・ 授業で扱う主たる英語表現の正しい運用 ・ 発音や強勢・リズム・イントネーションを意識した発話 ・ 板書や提示物における英語の正しい表記 ・ ALT等と授業について打ち合わせをするための表現 ・ クラスルーム・イングリッシュを土台にした意味のあるやり取り ・ 児童の発話や行動に対する適切な言い直し ・ 児童の理解に合わせた適切な言い換え ・ 児童の発話や行動に対する即興的な反応

### 第二言語習得：

教員養成課程では学習項目が詳細に記述されているが、教員研修に関してはあまり詳細ではない。

### 英語力：

教員養成課程の項目が4技能を言及したにとどまっている一方、教員研修では、8項目にわたり具体的に記述されている。

### 授業研究：

教員養成課程では項目がないが、教員研修では具体的な内容の記述がある。

→現職教員のための研修では、理論よりも英語力を補うこと、また外国語・外国語活動の授業の研究に重きを置いているように見える。

教員が望む研修（Kusumoto, 2008；猪井, 2009）に挙げられている項目（実践にすぐに役立つこと）に一致しているように見えるが、それで十分であるということなのであろうか。

### 外国語活動における学級担任の役割

- 井草（2010）
- ・ 児童を深く理解している
  - ・ 教案が書ける
  - ・ 教授法の知識がある
  - ・ 外国語活動の指導テクニックを身につけている
  - ・ 児童が他教科で身につけた知識や技能を関連づけた活動を実施する方法を知っている
  - ・ 教室英語（Classroom English）に習熟している
  - ・ 自ら英語を使うお手本を示す活動に参加しながら、活動に参加しにくい児童を支援する
  - ・ 英語の誤りを訂正するタイミングや訂正の仕方を知っている

現職教員研修で必要なことは？

## 地域連携を促進するための大学が提供する教員研修を考える

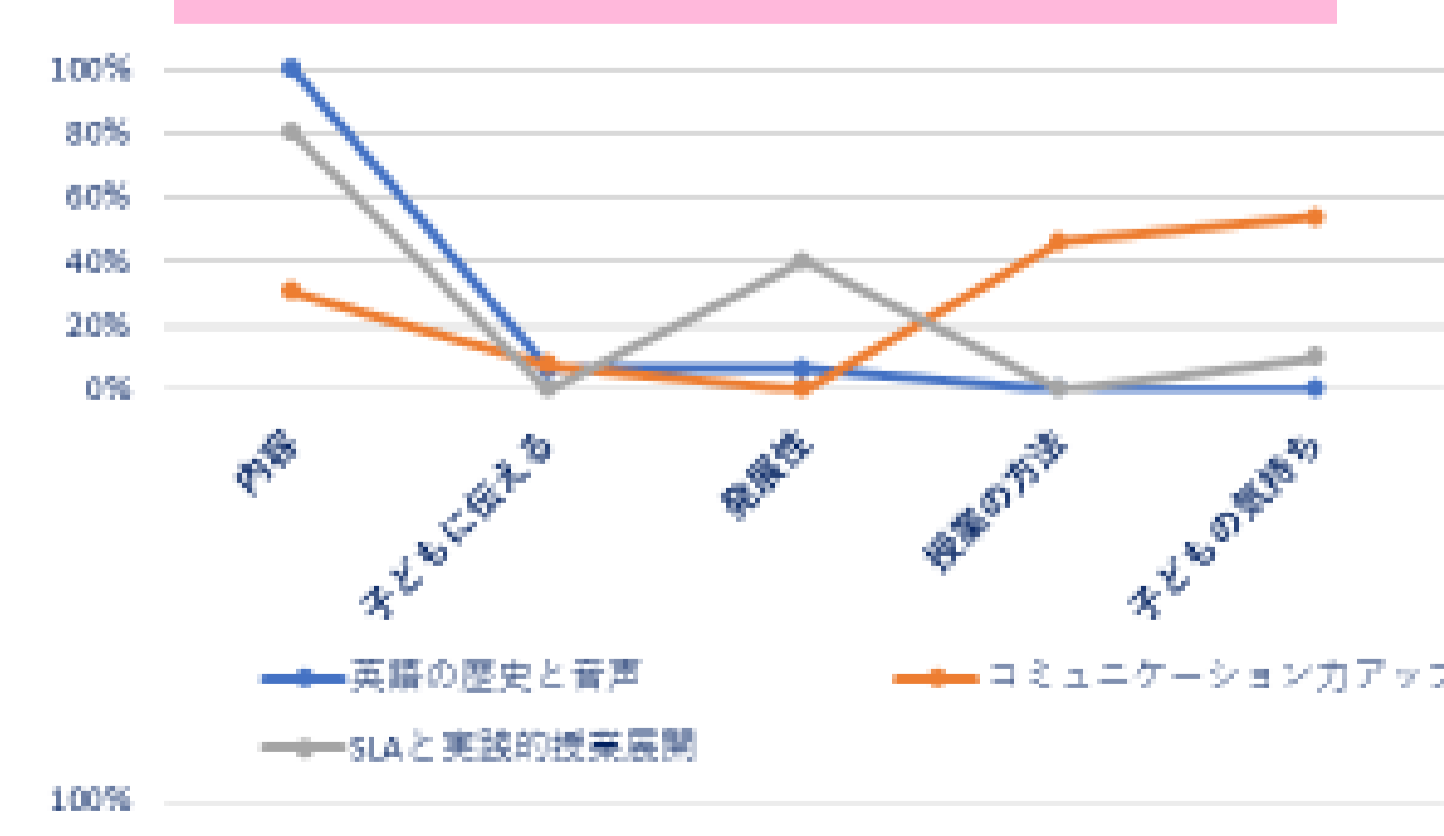
東京未来大学こども心理学部 宅間研究室・執行研究室合同主催

「小学校英語研修—英語を知って楽しく授業をしよう—」

	8月28日	8月29日
10:30-12:00	英語の歴史と音声	第二言語習得と実践的授業展開：「クロスカリキュラムの導入と応用」 Mother Gooseと手遊びの紹介
13:30-15:00	ワークショップ：英語のコミュニケーションカアップセミナー	ワークショップ：授業シラバス作成
15:00～	お悩み相談	お悩み相談

参加者	8月28日	8月29日	合計		
	午前	午後	午前	午後	
現職小学校教員	10	11	8	7	36
東京未来大学学生	1	2	2	2	5
東京未来大学通信課程学生			2	2	4
合計	11	11	12	11	45

### どのような点がご自身の学びになりましたか



### ご期待に沿えなかったことはありますか

- ・ 英語の歴史と音声
- ・ 「生かせない」（13%）「難しすぎる」（7%）
- ・ SLAと実践的授業展開
- ・ 「備品不足」（10%）

### 考察

- ・ **学びになったこと**  
「英語の歴史と音声」と「SLAと実践的授業展開」では、内容についての記述がほとんどで他のものがわずかしかなかった。一方、「コミュニケーションカアップ」では、学びになったことについて子どもの気持ちになって授業を受けたことが分かる。
- ・ **本講座をどのように生かすか**  
「英語の歴史と音声」と「SLAと実践的授業展開」では内容と姿勢が多く、「コミュニケーションカアップ」では、やり方や授業を応用することの記述が多く見られる。
- ・ **参加者は、「英語の歴史と音声」と「SLAと実践的授業展開」では、英語の知識や理論を学び、「コミュニケーションカアップ」では、授業技術を学んだと振り返っている。**  
→教員の英語や教授の方法の気づきを引き起こす研修を提供すべきである。

### データ収集および分析

各講座後に参加者にアンケートを実施（記述式）

- ・ どのような点がご自身の学びになりましたか。
- ・ 今後外国語活動をする上で本講座をどのように生かしていきたいと思いませんか。
- ・ ご期待に沿えなかったことはありますか。

それぞれの質問事項毎に解答を分類し、質的に分析した。

### 今後外国語活動をするうえで本講座をどのように活かしていきたいと思いませんか

今後外国語活動をするうえで本講座をどのように活かしていきたいと思いませんか

参考文献  
 British Council 「英語教育推進リーダー中央研修（文部科学省委託事業）」  
 猪井研一(2009) 「英語活動に関する小学校教員の現状調査」 英大大学教育実践研究 28(2009), 49-63.  
 川上英子(2010) 「小学校英語：教員研修の現状と課題—カリキ・国語ブロックの授業実践から学ぶ—」 『小学校英語活動の推進—英語活動—』 東京学芸大学附属国際人文学部国際人文学部紀要 13(1), 61-76.  
 Kusumoto, Y. (2008). Needs analysis: Developing a teacher training program for elementary school teachers in Japan. UHSL Paper, 1-44.  
 文部科学省 「教員研修の活性化」, 11-14.  
 http://www.mext.go.jp/k\_k/mext/attach/attach/20090227.htm  
 猪井研一(2009) 「小学校英語活動の推進—英語活動—」 『小学校英語活動の推進—英語活動—』 東京学芸大学附属国際人文学部国際人文学部紀要 13(1), 61-76.  
 日本英語検定協会 (2016) 「小学校の外国語活動及び英語活動に関する現状調査」 調査報告書  
 東京未来大学 2016 英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業 平成27年度報告書